日本医療機能評価機構 認定第 JC 1994 号

KMU 金沢医科大学氷見市民病院

広報誌

氷見かけはし KAKEHASHI

2025 夏 Vol.64

患者さんと病院と
地域をつなぐ広報誌

KANAZAWA MEDICAL UNIVERSITY HIMI MUNICIPAL HOSPITAL

TOPICS ●トピックス

令和7年度
第1回 金沢医科大学氷見市民病院
市民公開講座

航空自衛隊「ブルーインパルス」（第53回ひみまつり）

CONTENTS ●もくじ

TOPICS 令和7年度 第1回 金沢医科大学氷見市民病院 市民公開講座 …… P.01
特集 社会に学ぶ『14歳の挑戦』 …… P.02
加賀谷先生の診察室から …… P.03
診療コラム …… P.04
病院★ニュース …… P.05
病院からのお知らせ掲示板 …… P.06
デイケア通信 …… P.07

病院の理念

私たちは「生命の畏敬」を医療活動の原点として
次のような病院を目指します。

- 医療人としての研鑽に励み、患者さん中心の医療を実践します。
- 住民の健康と生命を守る中核病院として、安全で質の高い医療を提供します。
- 地域の医療機関と協力し、地域の医療福祉の向上に貢献します。
- 将来の地域医療の担い手となる有能な医療人を育成します。

金沢医科大学氷見市民病院のホームページ
http://www.kanazawa-med.ac.jp/~himi/

KMU 金沢医科大学氷見市民病院

令和7年度

第1回 金沢医科大学氷見市民病院 市民公開講座

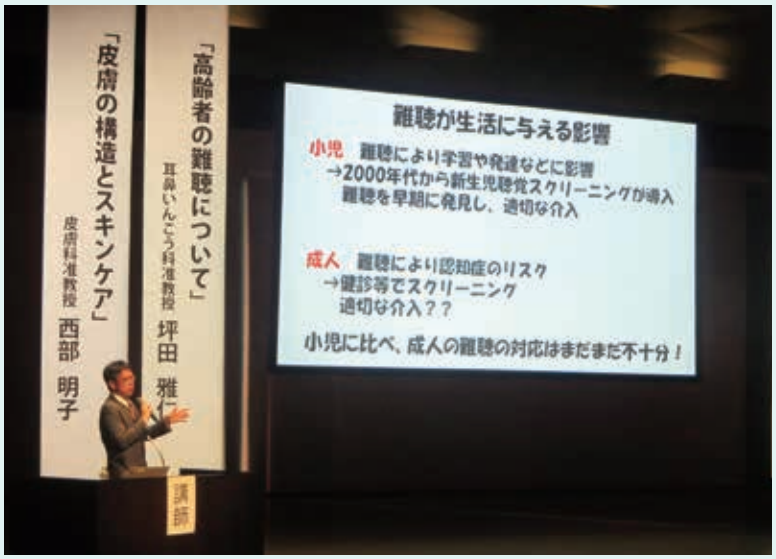
メインテーマ

今からでも遅くない！健康寿命を伸ばすために！

日時
令和7年7月5日（土）
13:30～15:30

会場
氷見市芸術文化館

今年度第1回となる市民公開講座は、「**今からでも遅くない！健康寿命を伸ばすために！**」をメインテーマとして耳鼻いんこう科の坪田雅仁准教授、皮膚科の西部明子准教授がそれぞれの専門分野の観点から講演を行いました。



耳鼻いんこう科　坪田雅仁 医師

はじめに、「**高齢者の難聴について**」と題し、耳鼻いんこう科の坪田雅仁科長が講演を行い、難聴は近年注目され始めた疾患であり、放置すると生活に悪影響を及ぼすだけでなく、認知症とも関係していると紹介されました。また、難聴には治る難聴と治りにくい難聴があること、治りにくい難聴の中でも〝老人難聴〟と〝補聴器〟の効果についてより詳しく説明されました。

次に、「**皮膚の構造とスキンケア**」と題し、皮膚科の西部明子科長が講演を行い、皮膚の構造や役割・アトピー性皮膚炎について、スキンケアでは清潔・保湿・紫外線対策が重要であると説明されました。また、皮膚疾患で近年増加傾向にあり注目を集めている帯状疱疹について、発症の仕組みやワクチンの種類・効果について紹介されました。

講演後には、参加者の方々からご自身の気になる症状について活発に質問をいただき、無事盛会のうちに終了することができました。

皮膚科　西部明子 医師

受講者のアンケート結果により、多くの方から「よかった」「次回も参加したい」といった評価をいただいき、「応援してくださる方の声」が職員のモチベーションアップにつながり〝地域のための病院〟としての意識が高まる機会となりました。今後も市民の皆さまに病院を身近に感じてもらい、健康増進に役立てていけるような取り組みを行っていきますので、ぜひご利用ください。

社会に学ぶ『14歳の挑戦』

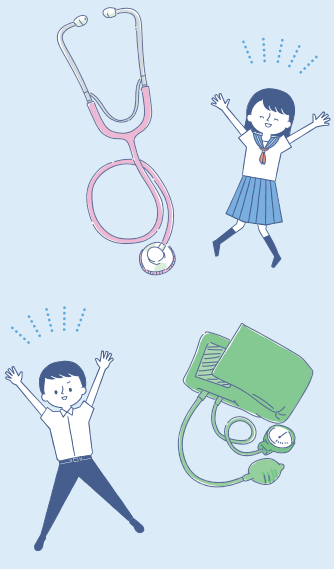
期間 令和7年6月30日(月)～7月4日(金)

6月30日から5日間、市内の中学2年生を対象とした14歳の挑戦が行われました。

当院には、南部中学校、北部中学校より計6名が訪れ、看護体験、各部門の見学・実際の医療機器を用いた操作など、各部門のスタッフが工夫を凝らしたプログラムで学生を迎え入れました。

参加した生徒は、初めて立ち入る医療現場の緊張感を肌で感じながら、スタッフの話に耳を傾け、真剣にメモを取る姿がみられました。またスタッフとの会話の中で、「患者さんを思いやる気持ち、寄り添うことの大切さ」や「常に新しい知識と技術を身につける力」が必要と説明を受ける場面もありました。活動日誌から、日々体験を重ねることで、病院で働くさまざまなスタッフの仕事を実感し、視野が広がっていく様子が伝わってきました。

5日間という短い時間でしたが、今回の体験が未来への可能性に満ちた皆さんにとって有意義な時間となっていれば幸いです。参加した6名の今後のさらなる飛躍を職員一同祈念しています。



加賀谷先生の診察室から

腎臓内科　科長

加賀谷 侑
YU KAGAYA

今年4月に当院の腎臓内科科長に就任した加賀谷と申します。今回は自己紹介も兼ねて当科での治療内容や特色に関してお話させていただきます。

金沢医科大学卒業後に、金沢医科大学病院で研修を受けた際に、腎臓内科では腎臓だけでなく全身を診る内科であること、人工透析により、より患者に寄り添った医療を提供できることに魅力を感じ、腎臓内科医となりました。金沢医科大学氷見市民病院へは令和5年に配属となり3年目となります。

腎臓は体の中で、いわば〝フィルター〟の役割を果たしています。血液をろ過し、不要な老廃物や余分な水分、塩分を尿として体の外に出す、大切な臓器です。また、血圧の調整や赤血球をつくるホルモンの分泌、骨の健康を支えるなど、さまざまな働きも担っています。

わたしたち腎臓内科では、高血圧、糖尿病、尿の異常（タンパク尿や血尿）などを契機に見つかる「慢性腎臓病（ＣＫＤ）」の診療を中心に行っています。ＣＫＤは初期にはほとんど自覚症状がありませんが、進行すると腎機能が低下し、最終的には透析が必要になることもあります。そのため、早期発見と継続的な管理がとても大切です。採血や尿検査で腎臓の状態を把握し、必要に応じて食事や生活習慣の見直し、薬物療法を行いながら、腎臓をなるべく長く健康に保つよう努めています。

わたしたちは「患者さんと一緒に腎臓を守る」ことを目指し、丁寧な説明と信頼関係を大切に、日々診療を行っています。気になる症状がある方や、健康診断で指摘を受けた方は、どうぞお気軽に腎臓内科へご相談ください。

わたし自身が秋田県出身であり、氷見は地元に気候や環境が似ていることからすごく親しみを覚えております。氷見市の地域医療に貢献できるよう日々精進して参りますので今後ともよろしくお願いします。

加賀谷　侑 ★ 略歴

【学歴・職歴】

平成27年　金沢医科大学医学部卒業
平成29年　金沢医科大学病院腎臓内科　医員
令和 3年　金沢医科大学腎臓内科学　助教
令和 5年　金沢医科大学氷見市民病院腎臓内科　助教
令和 7年　金沢医科大学氷見市民病院腎臓内科　科長
　　血液浄化センター長

【資格・所属学会】

- 日本内科学会認定内科医
- 日本腎臓学会専門医
- 日本透析医学会専門医

診療コラム

中央臨床検査部・病理部紹介

中央臨床検査部

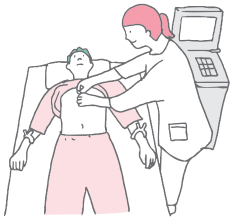
中央臨床検査部では、「検体検査」「生理機能検査」「細菌検査」の3つの主な業務を行っています。

「検体検査」

患者さんから採取した血液、尿、便などの検体を検査し、病気の早期発見を目指して正確な結果を提供しています。また、迅速に医師に結果を連絡し、治療が遅れることのないよう努めています。

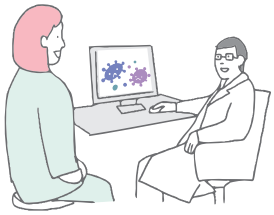
「生理機能検査」

心電図や超音波検査、脳波検査などを通じて、患者さんの状態を確認します。検査を行う際には、患者さんがリラックスしながら安心して受けられるように丁寧で優しい対応を心がけています。



「細菌検査」

感染症の原因菌を特定し、適切な治療を始められるようにしています。また、薬剤感受性試験を行い、患者さんに最適な治療方法を提供できるようサポートしています。



病理部

病理部では、手術で取り出した組織や細胞を顕微鏡で観察し、がんやその他の疾患の有無を診断します。この診断結果は、患者さんの治療方針を決定するうえで非常に重要です。迅速に診断を行い、治療が円滑に進むよう支援しています。

中央臨床検査部と病理部は、常に「正確・迅速・安全」をモットーに、患者さんの健康を守るために最善を尽くしています。私たちは、地域の皆さんが安心して治療を受けられるよう、今後も努力を重ね、サポートし続けます。もし何かご不明な点があれば、どうぞお気軽にお声かけください。

病院機能評価訪問審査を終えて

日時　令和7年6月19日(木)・20日(金)

令和7年6月19日(木)・20日(金)の2日間にわたり、(公財)日本医療機能評価機構による訪問審査を受審し、7名の外部サーベイヤーによって審査が行われました。

この審査は、5年毎に第三者によって、中立的な立場から総合的に病院を評価していただく仕組みになり、今回で3回目の受審となります。

外部からの目によって、病院の改善活動に対して助言や問題点を指摘いただき、病院体制の一層の充実や質向上に向けて取り組みを推進するものだと考えています。

病院機能評価で重視されることとして、①医療安全②感染対策③周知徹底④記録になります。これらは何よりも市民の皆さまに安心して受診していただくために必要なことだと考えています。

受審結果が出るのはまだ先になりますが、今回の受審を機に様々なことで質改善を図り、これまで以上に安心・信頼して受診していただけるよう継続して職員の意識改革を図っていきたいと考えています。

令和7年度第1回院内感染対策講習会・抗菌薬適正使用研修会

日時　令和7年6月5日(木)　午後4時45分～

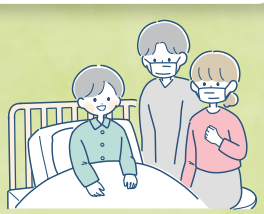
場所　金沢医科大学氷見市民病院6階多目的ホール

令和7年6月5日に第1回院内感染対策講習会・抗菌薬適正使用研修会を開催しました。初めに坪田雅仁医師より院内での感染対策の注意点や改訂点、昨年度に発生した感染症に関しての講演があり、続いて北川秀人薬剤師より当院の抗菌薬の使用状況や今後の注意点等について講演がありました。本講習会は年2回定期的に開催されており、全職員がより安全な医療を提供すべく知識を深めています。第2回は冬に外部講師を招聘して開催予定としています。

病院からのお知らせ掲示板

入院患者の面会について

当院では、下記のとおりルールを設け、面会を実施しています。面会者の皆さまには、感染対策にご協力いただくとともに、ルールを守ってご面会いただきますようお願いいたします。



面会時間	14時～16時（15分程度） ※15時45分までに来院してください。
人　数	2名まで （許可を受けられたご家族及びキーパーソンの方）
場　所	個室・病棟ダイニング
面会時のお願い	●マスクの着用と、手指消毒をお願いします。 ●面会中の飲食はご遠慮願います。 ●体調不良の方は、面会をお控えいただきますようお願いします。

面会・荷物の受け渡しは、
各病棟のスタッフステーションまでお越しください。

病院イベントの予定について

10月

◎9月29日（月）～10月4日（金）
14歳の挑戦

11月

◎11月8日（土）
第49回富山県国保地域医療学会
会場：氷見市芸術文化館

医療安全推進週間（医療安全川柳募集など）

◎11月29日（土）
第15回広げようブルーサークル
in ひみ健康講座
会場：氷見市芸術文化館

12月

クリスマスコンサート

2026年 1月

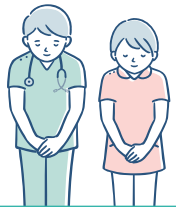
2026年 1月24日（土）
令和7年度 第2回市民公開講座
会場：氷見市芸術文化館

患者さんのご意見・病院の回答

当院では、院内に「ご意見箱」を設置し、医療サービスの向上や療養環境の改善を図るために、患者さんからご意見やご要望をお寄せいただいています。

患者さんからのご意見 ①

金沢医科大学氷見市民病院さんに心のこもった治療と看護師、リハビリの先生やそれに携われている皆様に感謝とともに心からお礼を申し上げます。ありがとうございます。
どうかこれからも金沢医科大学氷見市民病院さんが益々良くなっていかれることを心からお祈りしています。



病院からの回答

この度は、ありがたいお言葉をいただき、誠にありがとうございます。スタッフ一同大変嬉しく思っております。
患者様からのお言葉は職員の励みとなります。
今後もより良い医療を目指し、職員一同サービス向上に努めてまいります。

患者さんからのご意見 ②

Wi-Fiを
設置してください。

Free Wifi

病院からの回答

ご不便をおかけして申し訳ございません。
現在、Wi-Fiに関してはラウンジでのみ利用可能とさせていただいております。院内の環境設備の調査をし、氷見市と検討をいたしております。皆さまが快適にお過ごしいただけるようスタッフ一同取り組んでまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

いただいたご意見やご要望は該当部署で検討し、改善に努めています。皆様からのご意見を参考に、よりよい病院づくりをしてまいりますので、お気づきの点がございましたらお聞かせください。ご意見に対する病院の回答の一部をホームページにも掲載していますので、ご覧ください。

病院運営の基本方針

1. 患者さん中心の病院運営を行います。
2. 安全で信頼される医療の提供に最善を尽くします。
3. 患者さん・ご家族への「説明と同意」を徹底します。
4. 高度医療、質の高いチーム医療を推進します。
5. 地域の中核医療機関として地域医療連携・支援を推進します。
6. 良医の育成と医療人の教育・研修を推進します。
7. 働き甲斐のある健全で活力ある病院づくりに務めます。
8. 安定した経営基盤の確立に努めます。

患者さんの権利

当院は医療の中心は患者さんであると認識し、患者さんには次のような権利があることを宣言します。

- 安全で良質な医療を公平に受けることができます。
- 病気や治療内容について、分かりやすい言葉で説明を受け、ご自分の希望や意見を述べることができます。
- ご自分の意思で治療方法や医療機関を選択することができます。
- 診療記録の開示を求めることができます。
- 他の医療機関に受診することを希望されるときは、必要な情報提供を受けることができます。
- プライバシーは尊重され、個人情報は厳重に保護されます。
- 臨床研究に関して充分な説明を受けたうえで、その研究に参加するかどうかご自分の意思で決定できます。
  また、いつでも参加を取り消すことができます。
- 治療に関する自己決定の参考にしていただくため、セカンドオピニオンを受けることができます。

患者さんへのお願い

当院は、地域の中核病院としての社会的使命を果たすため、様々な医療を提供しています。患者さんには、次のことをご理解いただき適切な医療を行うためご協力くださいますようお願いいたします。

- 健康状態、その他必要なことを可能な限り正確にお話しください。
- 説明を受けてもよく理解できない場合は納得できるまでお聞きください。
- 治療を受ける場合は、医療スタッフの指示に基づき療養してください。
- 病院のルールを守り、他の患者さんの迷惑にならないようご配慮ください。
- 教育病院として、医師、医学生、看護学生、医療専門職の学生、救急救命士などの臨床実習・研修教育を行っております。厳重な指導のもとに実施していますので、ご理解とご協力をお願いします。

デイケア通信

リハビリ「七夕飾り」

7月の壁面制作では、七夕をテーマにした作品を通所リハビリテーション利用者の皆さんと一緒に作りました。ラップの芯を竹に見立て、絵の具で丁寧に色を塗り、華やかな笹を再現しました。

皆さんには折り紙で飾りを作っていただき、短冊には思い思いの願い事を書いていただきました。色とりどりの短冊が風に揺れるような素敵な七夕飾りが完成しました。

「元気に過ごせますように」「家族が健康でありますように」など、心温まる願い事が並び、作品を通して季節の行事を楽しむ事ができました。

表紙について

8月2日（土）に開催された「第53回ひみまつり」にて、能登半島地震からの復旧と復興を祈願して航空自衛隊「ブルーインパルス」の展示飛行がありました。大変暑い日でしたが、たくさんの方が空を見上げて、ブルーインパルスが通るたびに大きな歓声があがりました。この飛行がたくさんの方に勇気をあたえてくれたと思います。復旧と復興は長い道のりですが、ブルーインパルスの飛行を思い出して上を向いて進みたいですね。

編集後記

この夏は市民公開講座、ブルーインパルス、親子ふれあいフェスティバルとイベントが盛りだくさんでしたが、例年に比べて猛暑、少雨の夏でした。そんな環境の中、当院では体調を崩し熱中症等で受診された方が多く見られました。また、コロナウイルスや食中毒などの感染症も増加しています。暑さのせいか感染症対策や体調管理がやや緩くなりがちな印象ですので、今一度ご自身の健康管理を見直して頂きたいと思います。当院は日本医療機能評価機構による審査を終え、今までよりも更に質の高い医療を提供する体制を整えましたので、今後も安心して受診いただければと思います。

かけはし夏号編集委員　耳鼻いんこう科　坪田 雅仁

■広報誌「かけはし 氷見」の由来
広報誌が患者さんと病院、地域と病院をつなぐ"かけはし"となることを願って命名されました。

発行：金沢医科大学氷見市民病院 広報委員会　〒935-8531 富山県氷見市鞍川1130番地　TEL.0766-74-1900（代）FAX.0766-74-1901　http://www.kanazawa-med.ac.jp/~himi/